

第1号様式（第5条関係）

墨田区SDGs宣言書

墨田区長 宛

私たちは、持続可能なまちづくりに向け、下記のとおり、SDGsの推進に墨田区とともに取り組むことを宣言します。

<宣言日> 令和8年7月2日

<更新日>

<変更日>

事業者・団体等名：(株)アダチファクトリー
 代 表 者 役職：代表取締役
 氏名：萩部健次

記

事業者・団体等としての 2030年までのあるべき姿	主に農産物を使用したアップサイクル加工食品開発及び流通を行います。また、生産者の所得向上のためのアップサイクル6次産業化をサポート致します。
------------------------------	--

・ 関連するSDGsの目標すべてに○をご記入ください。（複数選択可）

					
					
					

・ ○を記入していただいたSDGs目標の達成に向け、すでに具体的に取り組んでいること、又はこれから取り組むことをご記入ください。

当社は「食の力で人・企業・地域の未来を支える」を理念に、地域の農業課題解決と企業の健康経営を一体としたビジネスモデルを推進しています。具体的には、地域で発生する規格外農産物や未利用資源をアップサイクルした食品・飲料（米麴ドリンク等）の開発を行い、生産者の所得向上とフードロス削減（目標12・15）に貢献しています。また、開発した健康配慮型商品を企業向けに提供することで、従業員の生産性向上とウェルネスを支える健康経営サポート事業を展開（目標3・8）しています。さらに、地域の教育機関と連携し、中学生を対象とした規格外野菜の活用に関する探究型学習や食育教育への協力（目標4）を継続的に実施しています。今後も自治体、大手パートナー企業、地域の農業生産者との強固なネットワーク（目標17）を活かし、サプライチェーン全体で持続可能な地域社会の実現と、関わるすべての人々の健康と働きがいの向上を目指した循環型事業を拡大・展開してまいります。

SDGs 達成に向けた特徴的な活動	独自開発の「15時からの米麴ドリンク」等の健康配慮商品をオフィスへ導入し、企業の健康経営と生産性向上を支援する活動です。原料には地域農産物の未利用資源を積極活用し、フードロス削減と地域活性化を同時に実現。さらに学校現場の食育探究学習とも連携する、多角的な循環型アプローチが特徴です。
宣言日から3年間の成果指標（定量的な目標）	・未利用農産物を活用したアップサイクル商品の開発および累計販売数：10,000食/本以上 ・健康経営サポート導入企業数および、導入企業における従業員の体調改善満足度：80%以上 ・地域教育機関と連携した食育・農業探究学習プログラムの実施回数：年間3回以上の継続開催
業 種	その他
所 在 地	〒130-0026 墨田区両国3-34 3階
事業所数（本社が提出する場合のみ）	事業所
従業員（構成員）数	4 名 （うち外国人 ____名）
U R L	https://www.shoku-ken.jp/
区HPへのリンク可否	はい
SDGs 宣言証の発行	希望する

・ 対象要件に関し、該当するすべての欄に✓してください。	
✓ 欄	対 象 要 件
☒	関係法令等に違反していない。
☒	公序良俗に反していない。
☒	暴力団及び暴力団員、暴力団の構成員と密接な関係を有していない。
※：☑がついていない箇所がある場合、対象要件に該当しないため、宣言書を受理することができません。	

・ 提出書類	
墨田区SDGs 宣言書	本紙
そのほか活動内容が分かるもの	必要であれば添付すること

※宣言書の内容は担当者以外、原則、区のウェブサイト等で公開します。